

「EtherNet/IP」、「CC-LINK IE Field Basic」 通信プロトコルへの追加対応と、スタータキットの発売を開始 生産現場の利便性向上を実現するφ22スマートRFIDリーダ「KW2D形」

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は2020年9月7日（月）より、社員証などのICカードや、鍵の代わりとして欧州で広く使われているKEYFOBタグを読み取ることで、機械・装置の権限管理や現場での入退室管理、検査ラインの履歴管理などを実現する、φ22スマートRFIDリーダ「KW2D形」をグローバルで発売いたしました。KW2D形は、水や油がかかる環境下でもご使用いただける高い耐環境性能と、Ethernetポートを搭載することでプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器などの上位機器と接続がしやすいといった特徴を持つ製品です。



これまでは、「Modbus TCP」という通信プロトコルにのみ対応していましたが、2020年12月25日（金）のソフトウェアのバージョンアップにより、世界トップシェアをもつ産業用通信プロトコル「EtherNet/IP」と、国内大手プログラマブルコントロールメーカーなどで使われている「CC-LINK IE Field Basic」に対応いたしました。このバージョンアップにより、国内外の電子機器との接続親和性を高めることで、利便性をさらに向上いたします。

また2021年1月12日（火）より、KW2D形のスタータキットの発売を開始する予定です。KW2D形と上位機器との通信や制御を行うためには、新たにプログラムを追加する必要があることから、お客さまがKW2D形を自社設備に導入する場合、事前に動作確認や、運用面の検証を行いたいという要望がありました。そこで今回、活用シーンに合わせて、KW2D形本体と各種アクセサリなどを同梱した2つのキットを、定価の3分の1以下の価格となる49,800円（税抜）でご提供することで、本格導入前の検証作業などを手軽に実施いただくことが可能となります。

ソフトウェアのアップデート

- 「Modbus TCP」に加え、今回新たに「EtherNet/IP」、「CC-LINK IE Field Basic」の通信プロトコルに対応することで、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器といった、さまざまな国内外の電子機器との接続親和性を向上いたします。



スタータキットの内容

【キット1：機械の操作制限、管理室や柵内の入室制限などを行う場合】

- 「KW2D形」と、小形表示器とPLC機能を搭載した「FT1A形」のセット
KW2D形で照合した結果をFT1A形でリレー出力に変換できます。



FT1A形

【キット2：機械の操作履歴・製造ラインなどで検査履歴を記録する場合】

- 「KW2D形」と、プログラマブル表示器「HG1G形」のセット
作業者の名称と作業時刻を記録し、USBメモリに保存することができます。



HG1G形

以上

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com